

福岡病院での診療情報を下記の研究に用いることになりましたのでお知らせします。

記

1. 研究代表者	三浦 悠太郎
2. 研究課題名	当院におけるダニ特異的IgE抗体測定と好酸球,FeNo,総IgE値との関係-成人のアレルギー性呼吸器疾患における検査の意義
3. 研究の概要	<p>2017年6月～2025年3月において当院で抗原特異的IgE抗体測定を実施した検体を使用する。 アレルギー疾患の診断と治療においては血清中抗原特異的IgE抗体の測定が重要である。 当院は2014年にアレルギー疾患の予防・治療の情報提供を目的として抗原特異的IgE抗体を測定するIMMULITE 2000XPiを導入した。IMMULITE 2000XPiはアスタット3g CLEIA法を測定原理としており低濃度域から高濃度域まで高い精度特異的IgEを測定できる検査法である。本検査は主に呼吸器内科で活用されている。我々は当院呼吸器内科におけるアスタット3gCLEIA法を用いたダニ特異的IgE値が臨床におけるアトピー型気管支喘息,アレルギー性鼻炎などのアレルギー疾患の診断の評価にどの程度有用であるかを検討する。また好酸球,FeNO,総IgEとの関係を検討し,抗体検査を行う上でより信頼性の高い正確な検査値を情報提供することに繋げる。</p> <p>(診断・治療内容・予後の状況等を情報を使用しますが、お名前、住所等プライバシーに関する情報が外部に公開されることはありません。また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担(採血や面談など)が生じることはありません。)</p>
(個人情報利用の目的)	研究期間(データ収集期間)2017年6月から2025年3月
4. 使用する診療情報	診療情報内容:病歴、年齢、アレルギー検査結果 対象診療期間 2017年6月1日から2019年12月
5. 使用する検体	検体名:血液 データ採取時期:2017年2017年6月1日から2019年12月
6. 病名	アレルギー疾患

① この研究の科学的妥当性と倫理性は、当院の倫理審査委員会等において厳重に審査され、承認されています。また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。

② 具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いることを拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

☆お問い合わせ☆

国立病院機構福岡病院管理課
 管理課長

住所 : 〒811-1394 福岡市南区屋形原4丁目39-1

電話:092-565-5534

FAX:092-566-0702

(お問い合わせは、なるべく、FAX又は郵送でお願いいたします。)